

# 太平洋スプレーコートニューシステム

半乾式吹付けロックウール

## 太平洋スプレーコート

乾式吹付けロックウール

## 太平洋スプレーボンド

下地処理用粘着剤

# 【半乾式吹付けロックウール】

国土交通省不燃認定NM-8601 (吹付けロックウール)

# 太平洋スプレーコート ニューシステム アスベスト含有商品ではありません

太平洋スプレーコートニューシステムは、解綿圧送されたロックウールと混練圧送されたセメントスラリーを吹付け機で同時に吹付ける工法です。吹付けロックウールの主流を占める工法であり、様々な利点があります。

## 特長

- 高層階への高所圧送が可能です。
- 乾式に比べ施工能率が上がります。
- セメントスラリーのみの吹付けが可能で、表面の硬化処理が容易です。
- 鋼材サイズ(はり・柱)の制限をうけない耐火認定を取得しています。

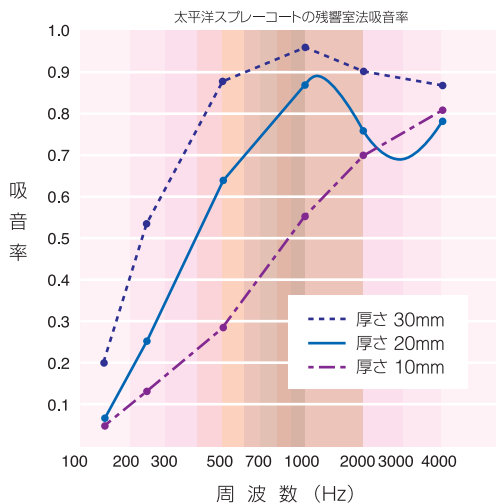
## 用途

- はり、柱、外壁、床、屋根などへの耐火被覆
- 天井、壁などへの断熱・吸音

## 一般性質

かさ密度  $\text{g/cm}^3$       0.28以上(はり・柱)  
0.30以上(壁・床・屋根)

## 吸音性能



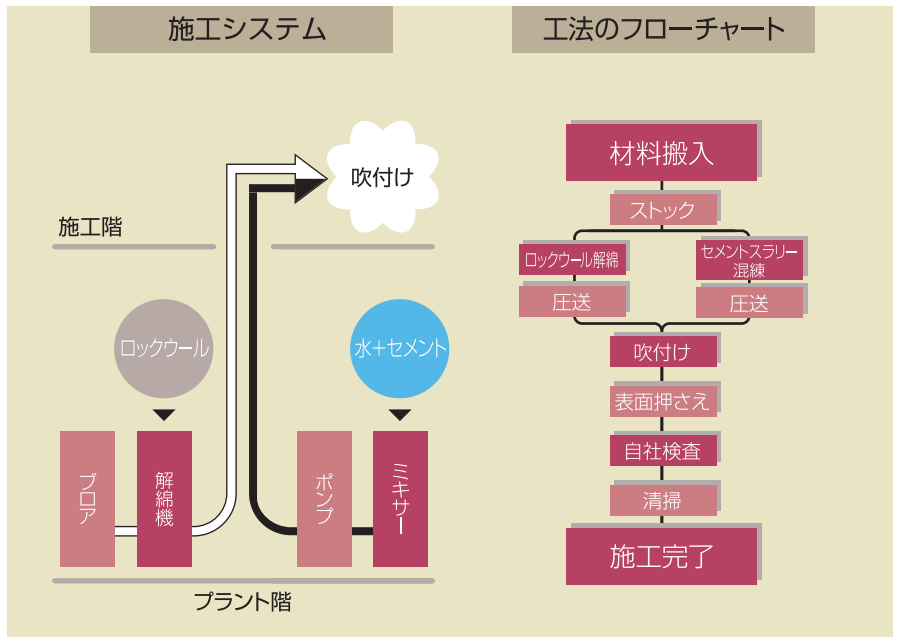
## 耐火認定番号

部位	耐火時間	厚さ(mm)	認定番号
はり	1時間	25	FPO60BM-9408
	2時間	45	FP120BM-9411
	3時間	60	FP180BM-9414
柱	1時間	25	FPO60CN-9460
	2時間	45	FP120CN-9463
	3時間	65	FP180CN-9466
外壁 (非耐力壁)	30分	20	FPO30NE-9304
	1時間	30	FPO60NE-9305
床	1時間	15	FPO60FL-9128
	2時間	20	FP120FL-9129
屋根	30分	10	FPO30RF-9324

\*合成耐火構造については、合成耐火構造認定番号一覧 (P.6) をご参照ください。



国土交通省認定不燃材料 NM-8600  
JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材  
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆



## 吹付け耐火被覆工法

# 【乾式吹付けロックウール】

国土交通省不燃認定NM-8601 (吹付けロックウール)

# 太平洋スプレーコート

アスベスト含有商品ではありません

太平洋スプレーコートは、工場でロックウールとセメントをプレミックスした材料を吹付け機で水と一緒に吹付ける工法です。

## 特長

- 優れた耐火性・不燃性を有しています。
- 小規模工事・補修工事に適しています。

## 用途

- はり、柱、外壁、床、屋根などへの耐火被覆
- 天井、壁などへの断熱・吸音

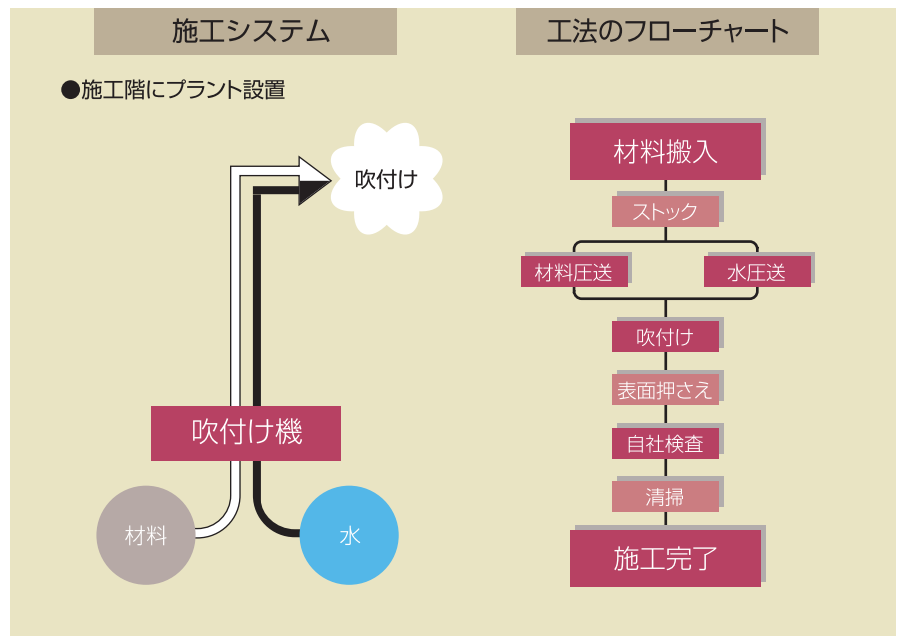
## 一般性質

かさ密度	g/cm <sup>3</sup>	0.28以上(はり・柱) 0.30以上(壁・床・屋根)
------	-------------------	--------------------------------

## 耐火認定番号

部位	耐火時間	厚さ(mm)	認定番号
はり	1時間	25	FPO60BM-9408
	2時間	45	FP120BM-9411
	3時間	60	FP180BM-9414
柱	1時間	25	FPO60CN-9460
	2時間	45	FP120CN-9463
	3時間	65	FP180CN-9466
外壁 (非耐力壁)	30分	20	FPO30NE-9304
	1時間	30	FPO60NE-9305
床	1時間	15	FPO60FL-9128
	2時間	20	FP120FL-9129
屋根	30分	10	FPO30RF-9324

\*合成耐火構造については、合成耐火構造認定番号一覧(P.6)をご参照ください。



## 吹付け耐火被覆施工上の注意

### 【施工上の注意】

- 気温が5℃以下の場合、施工を中止するか適当な採暖措置を行ってください。
- 施工後、材料が落下する恐れのある部材には、予め適当な措置(落下防止ピン、ラス、太平洋スプレーボードなど)を講じてください。
- 吹付け耐火被覆材は雨水により剥落する恐れがあり、外部使用に不適です。万一外部使用となる場合には雨水対策を講じる必要があります。
- 施工後、約1週間程度、衝撃・振動等は与えないようにしてください。

### 【材料保管上の注意】

- セメントがベースになっておりますので、製造後3ヶ月以内にご使用ください。
- 材料は湿気のない場所に水がかからないよう保管してください。

## ⚠ 安全上の注意



### 【廃棄上の注意】

- 周辺環境中に粉塵が飛散しないように注意してください。なお、ロックウール製品から発生する廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく「ガラスくず及び陶磁器くず」に該当し、通常の産業廃棄物として取り扱って差し支えありません。

### 【暴露防止措置】

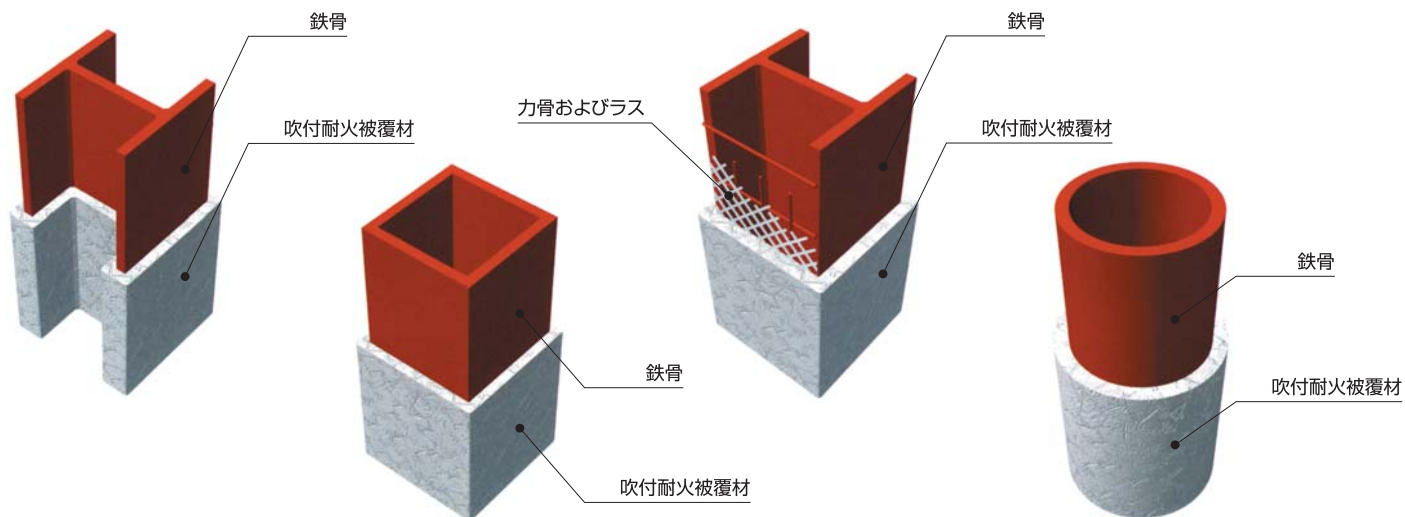
- ロックウール製品は、眼に入った場合に物理的な刺激作用があり、皮膚に付着した場合にかゆみや紅斑を生じることがあります。また、長時間に亘り大量に吸入すると呼吸器系障害の生じる恐れが考えられます。作業時は必要に応じて、防塵マスク・保護眼鏡・皮膚の露出しない作業着・手袋等を着用してください。(詳しくは製品安全データシートをご覧ください)



# 構造部分別施工法

## 柱

- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート



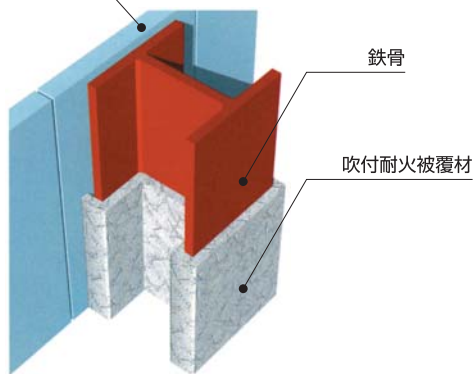
## 柱合成耐火

\*下地構成を必要としない場合

(ALC・鉄骨巾が1時間耐火で45mm未満、2・3時間耐火で65mm未満の場合)

- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート

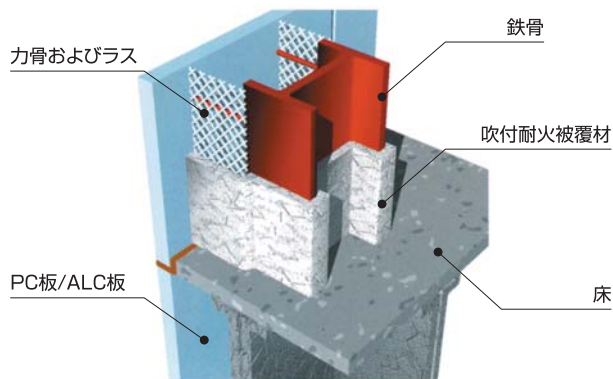
ALC壁パネル



\*下地構成を必要とする場合

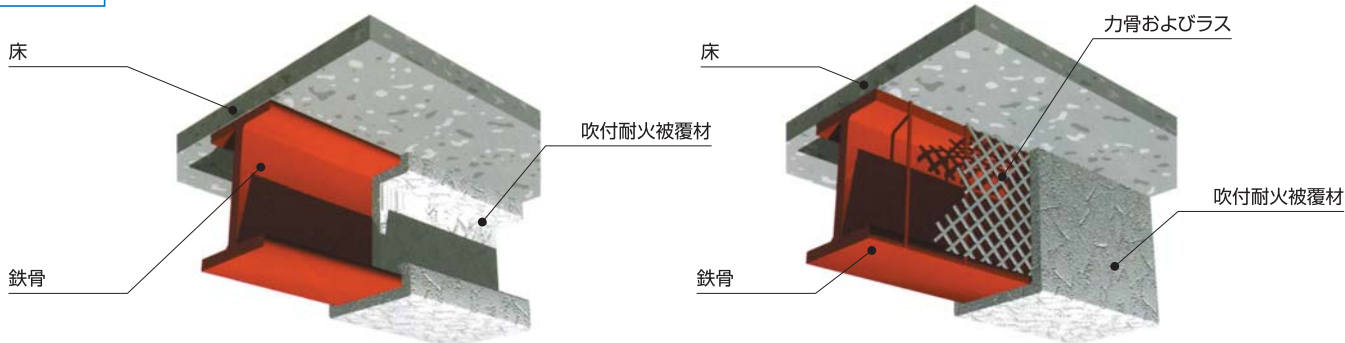
- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート

[ 下地材 力骨：JIS G 3112に規定するもの又は同等品(9φ以上、最大間隔450mm)  
ラス：JIS A 5505に規定するプラス3号又は同等品 ]



## はり

- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート

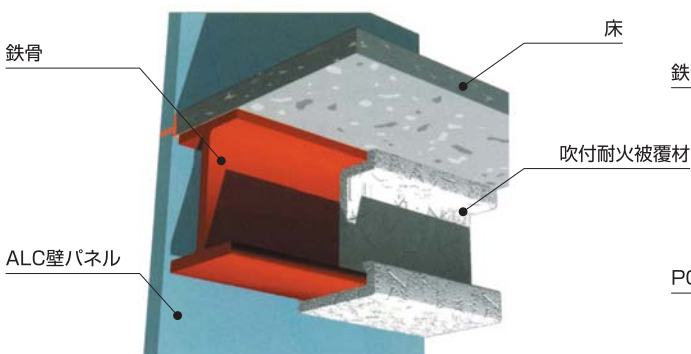


## はり合成耐火

### \*下地構成を必要としない場合

(ALC・鉄骨巾が1時間耐火で45mm未満、2・3時間耐火で65mm未満の場合)

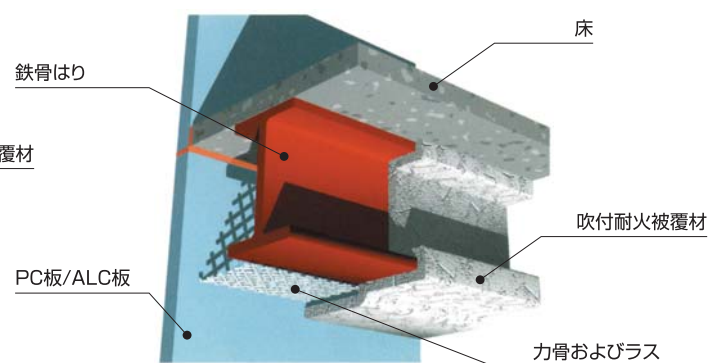
- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート



### \*下地構成を必要とする場合

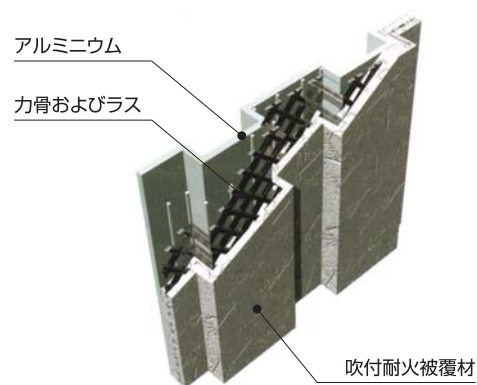
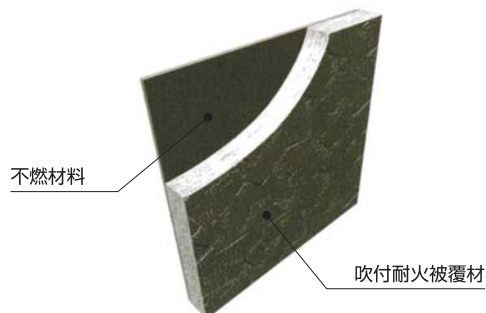
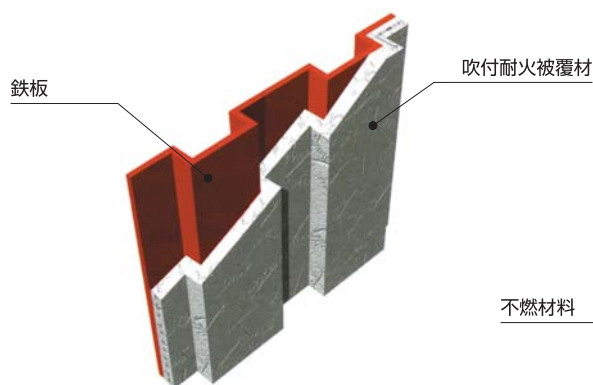
- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート

[ 下地材 力骨：JIS G 3112に規定するもの又は同等品 (9φ以上、最大間隔450mm)  
ラス：JIS A 5505に規定する平ラス3号又は同等品 ]



## 外壁 非耐力壁

- 太平洋スプレーコートニューシステム
- 太平洋スプレーコート



# 【下地処理用粘着剤】 太平洋スプレーボンド

太平洋スプレーボンドは吹付工法(半乾式、乾式)で施工する際の下地処理用として開発した粘着剤です。強力な粘着力を発揮しますので、吹き付け施工後の材料の付着力安定性が増大します。また、防錆塗料に対しても強力な粘着効果を発揮します。

## 標準使用方法

### 使用方法

- 下地処理剤として使用し、他の材料と混ぜないようにしてください。
- 噴霧機またはローラーで塗布してください。

### 濃度

- 原液のまま使用してください。

### 使用量

- 下地1㎡当たり50g以上。

### 乾燥時間

- 下地に塗布後、乳白色から透明に変わるまで養生してください。(表.1参照)

### 使用上の注意

- 粘着力が強いため必要外の箇所に付かないようにしてください。(特に内装仕上げ材、ガラス等)
- 使用した器具は直ちに水洗いしてください。

## 性能試験データ(一例)

外 観	乳白色エマルジョン
化 学 組 成	アクリル系共重合
固 形 分	60±1%
粘 度	100~500cps (25℃)
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

表.1

季 節	乾燥時間
春 季	30分以上
夏 季	10分以上
秋 季	30分以上
冬 季	60分以上

- 気温、通風の度合により乾燥時間は変わる。
- 透明に変色後は数日経過後も効力は変わらない。

## ⚠ 安全上の注意

### 【使用上の注意】

- 輸送時は容器からの漏洩が無い事を確認し、乱暴な取扱いを避け、荷崩れ、転倒、落下しないようにしてください。
- 凍結や、直射日光を避け5℃~40℃で保管してください。皮張り防止のため、使用後は密閉して貯蔵してください。
- 子供や部外者が近づかない場所に保管してください。
- 沈降している恐れがあるため、使用時は攪拌してご使用ください。

### 【取扱い上の注意】

- 取扱い中は換気を良くしてください。
- 目、口、皮膚への接触を防止するため、保護メガネ、保護マスク、保護手袋等を着用してください。
- 漏出した場合、乾燥砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収してください。河川、湖沼等へ流出した場合は、地方自治体の担当者に、直ちに連絡を取ってください。
- 洗浄水等の排水は、凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出してください。その他、水質汚濁防止法、廃棄物処理法の定めに従って廃棄してください。本来の用途以外には、絶対に使用しないでください。
- 万一、目に入った場合や蒸気を吸って気分が悪くなった時、または誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診断を受けてください。(詳しくは製品安全データシートをご覧ください)

# 耐火構造基準と耐火認定番号一覧

## 建築基準法と耐火構造

	外壁		間仕切壁		柱	床	梁	屋根	階段	塔屋			
	非耐力壁 延焼のおそれ 有り	非耐力壁 延焼のおそれ 無し	非耐力壁	耐力壁									
	1時間	30分	1時間	1時間									
非損傷性	最上階及び最上階から数えた階数が2以上で4以内の階	-	-	1時間	-	1時間	1時間	1時間	30分	30分	最上部		
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		最上階から数えた階数が5以上で14以内の階	-	-	2時間	-	2時間	2時間	2時間	30分	30分	12	
			13	14	15	16	17	18	19	20			
	最上階から数えた階数が15以上の階		-	-	2時間	-	3時間	2時間	3時間	30分	30分		
			17	18	19	20							
			遮熱性	1時間	30分	1時間	1時間	1時間	-	-	-	-	
			遮炎性	-	30分	-	-	-	-	-	30分	-	

- 一 この表において、第2条第1項第8号の規定により階数に算入されない屋上部分がある建築物の部分の最上階は、当該屋上部分の直下階とする。
- 二 前号の屋上部分については、この表中最上階の部分の時間と同一の時間によるものとする。
- 三 この表における階数の算定については、第2条第1項第8号の規定にかかわらず、地階の部分の階数は、すべて算入するものとする。

### 耐火性能に関する技術的基準

#### 第107条

法第2条第7号の政令で定める技術的基準は、次に掲げるものとする。

#### 非損傷性

左の表に掲げる建築物の部分にあっては、当該部分に通常の火災による火熱がそれぞれ左の表に掲げる時間加えられた場合に、構造耐力上支障のある変形、溶融、破壊その他の損傷を生じないものであること。

#### 遮熱性

壁及び床について通常の火災による火熱が加えられた場合に、当該加熱面以外の面（屋内に面するものに限る。）の温度が当該面に接する可燃物が燃焼するおそれのある温度として国土交通大臣が定める温度以上に上昇しないものであること。

#### 遮炎性

外壁及び屋根について屋内において発生する通常の火災による火熱が加えられた場合に、屋外に火災を出す原因となるき裂その他の損傷を生じないものであること。

## 耐火構造認定番号一覧

部位	耐火時間	太平洋スプレーコート・ニューシステム（半乾式） 太平洋スプレーコート（乾式）	
		厚さ（最低値）[認定番号]	
はり	1時間	25	[FP060BM-9408]
	2時間	45	[FP120BM-9411]
	3時間	60	[FP180BM-9414]
柱	1時間	25	[FP060CN-9460]
	2時間	45	[FP120CN-9463]
	3時間	65	[FP180CN-9466]
外壁 （非耐力壁）	30分	20	[FP030NE-9304]
	1時間	30	[FP060NE-9305]
床	1時間	15	[FP060FL-9128]
	2時間	20	[FP120FL-9129]
屋根	30分	10	[FP030RF-9324]

## 合成耐火構造認定番号一覧

部位	耐火時間	太平洋スプレーコート・ニューシステム（半乾式） 太平洋スプレーコート（乾式）	
		ALC壁パネル合成耐火構造	プレキャストコンクリート板合成耐火構造
		厚さ（最低値）[認定番号]	
はり	1時間	25 [FP060BM-9406]	25 [FP060BM-9407]
	2時間	45 [FP120BM-9409]	45 [FP120BM-9410]
	3時間	60 [FP180BM-9412]	60 [FP180BM-9413]
柱	1時間	25 [FP060CN-9458]	25 [FP060CN-9459]
	2時間	45 [FP120CN-9461]	45 [FP120CN-9462]
	3時間	65 [FP180CN-9464]	65 [FP180CN-9465]

 太平洋マテリアル株式会社

営業本部 ロックウール営業部

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル 15階

TEL 03-5500-7513 FAX 03-5500-7544

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北四条西5-1-3 日本生命北門館ビル 7階 TEL.011-221-5855 FAX.011-251-5573
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル 6階 TEL.022-221-4511 FAX.022-267-0208
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル 11階 TEL.052-452-7141 FAX.052-452-7140
関西支店	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル 4階 TEL.06-7668-6001 FAX.06-7668-6006
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル 5階 TEL.082-261-7191 FAX.082-261-7198
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル 8階 TEL.087-833-5758 FAX.087-833-5181
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル 6階 TEL.092-781-5331 FAX.092-721-6444

---

代理店